滝の原便り

社会福祉法人西仁会　広報誌
〒320-0851　宇都宮市鶴田町３３８１
TEL　028-632-7577

新型コロナウイルスの第1波(2020年3月～6月)から3年以上が経過し、ようやくコロナ前の日常が戻ろうとしている。コロナ禍という不安定な生活を余儀なくされた状況下で生活に少しでも癒やしや安らぎを求め、ペットを新たに飼う人たちも少なくなかったようだ。日本ペットフード協会調査によると、コロナ禍初年（2020年）の犬・猫の新規飼育数はコロナ前(2019年）に対し、犬が18％増の41.6万頭、猫は16％増の46万頭で、翌年（2021年）も犬は13％増の39.7万頭、猫は24％増の48.9万頭と、コロナ前（2019年）を上回る頭数が新たに飼育されている。勿論、ペットは犬・猫だけではない。具体的に示せる数値はないが、他のペットの多くの種も同様の傾向にあったに違いない。

高齢者二人世帯の我が家でも10年以上前から耳の垂れたうさぎ（ホーランドロップ)を飼っていたが、コロナ禍の最中(2021年)に病で亡くした。生まれた日が10月10日に近かったので「トト（兎兎）」と名づけた。何の因果か分からないが、「トト」が息を引き取ったのは10歳を迎えた10月10日の未明であった。

愛犬・愛猫家の9割近くはペットロスに陥ると言われているが、長い時間を家族の一員として共に過ごしてきたペットの死に直面すれば、それはごく自然なことだ。その後、私は新たにペットは求めず、自宅の庭にやってくる小鳥たちの姿やさえずりを楽しんでいた。

そんな折、突然、我が家に珍客が現れた。昨年7月の祝日「山の日」の早朝であった。自宅の前庭に据えてある手水鉢の清掃をしようとしたところ、中に何かがいる。じっと目を凝らしてみると手水鉢の底の端にザリガニが身を潜めていた。5～6cmの、見るからに「ザリガニ」のこどもだ。この手水鉢は小鳥などの水場として正面と東側の庭にそれぞれある。それらの清掃を毎日早朝行うのが私の日課のひとつになっている。この頃は、鶏骨（手羽）などが毎日のように投げ入れられていた。こんな悪さをするのは、我が家に来ては貯食をついばんでいるカラスの仕業に違いないと思っていた。しかし、ザリガニの天敵であるカラスが生きたまま手水鉢に放つことはあるのだろうか。調べてみてもそんな事例は見当たらなかった。あるいは人の手によるとも考えられる。しかし、手水鉢に行くには歩くと音を発する砂利が一面敷かれたエリアがある。そこを避けて近づくことはできない。忍者の忍び足をもってしても住人に気づかれずに歩くことは至難の業である。人の手だとしたら余程度胸の据わった方であろう。いずれにせよ、このまま放っておくこともできず、私がこのザリガニの面倒を見ることにした。盆入り直前の出会いから「ボン」と呼ぶことにした。

昔は、ザリガニと呼べるのは北日本に分布する在来種ニホンザリガニだけだったそうだが、ボンは正しく「アメリカザリガニ」である。小さい頃、自宅近くの用水路や沼などで捕まえた経験のある人は少なくないであろう。大きなハサミを持ち、堂々とした赤い姿はペットとしても人気が高く、全国約65万世帯で約540万匹（環境省2020年）が飼育されているという。このアメリカザリガニは名前の通り米国が原産地である。1927（昭和2）年に食用ウシガエルの餌として日本（鎌倉）に持ち込まれた。今では日本全国に広く定着している。今年6月に「条件付特定外来生物」として法規制され、販売や屋外への放出などが禁止となった。今は人間には迷惑がられる存在となっているが、ザリガニからすれば人間の身勝手さに腹を立てているかも知れない。

ボンの住処は当座のバケツから目新しい水槽に変わり、その置き場も玄関から居間に移され水槽越しではあるが、共に時間を過ごす環境が整った。夏、秋、冬、春と「ボン」は数度の脱皮を経て順調に成長し、徐々に勇壮な姿になってきた。寿命はおおよそ5年、四季を通じた世話で自信を深めた矢先、ボンが急死した。気温の高い日であった。1年近く育て、改めて知ったザリガニの習性・行動、これからが一層の癒しをもたらしてくれるであろうと楽しみにしていただけに残念でならない。たかがザリガニ一匹、されど・・・の心境である。

理事長　高野　俊彦

出会い

１０月後

令和５年８月１日発行

ファミール滝の原

【こどもの日】５月５日

昼食は、昔懐かしいお子様ランチを管理栄養士が彩りや栄養面を考え『おとな様ランチ』に仕上げました。

【外出行事】５月31日

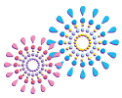
今回は『アピタ』へ。みなさん欲しいものをたくさん買うことができ喜んで頂けました。

【県民の日】６月15日

昼食：県民の日ランチ
おやつ：いちご蒸しパン

【夏越しの祓い】６月30日

昼食　夏越しごはん（かき揚げ丼）



【６月職員研修】

感染症対策の一環で『防護服の着脱』の研修を行っております。

【６月レクリエーション】

モザイクチップ写真たてづくり・Tシャツ染色・風鈴づくり・七夕飾り

【七夕】７月７日

昼食　七夕御膳

【海の日】７月17日

昼食　沖縄風丼もの　おやつ　涼やか和菓子

通所リハビリテーション

〈壁の絵〉

花や虫など色々な季節感のあるものをモチーフにし、２か月くらいのペースで壁に飾る絵を作成しています。

作業では難しい工程もありますが、みんなで苦戦しながらも完成した作品は、どれも素晴らしいです。

〈食事〉

今回は３回の行事食をお出ししました。特に県民の日メニューでは、地元の名物を取り入れ好評をいただきました。おなじみの料理が出て会話が弾んでいたようです。とても喜ばれていらっしゃいました。

〈七夕〉

短冊に願い事を書いて笹の葉に飾りました。みなさんの願い事がかないますよう祈っています。

〈いつもの風景〉

午前中は皆さん色々な過ごし方をしています

滝の原苑

〈こどもの日昼食会・お茶会〉５月５日（金）

今年のメニューは、たけのこご飯とにんじんご飯、揚げ物はエビのフリッターとクリームコロッケ、焼き物はミニハンバーグ、煮物はじゃがいもとグリーンピースの甘煮、炒め物はうどのきんぴらと菜の花のマヨソテー、サラダはホワイトアスパラのオーロラソースかけ、春野菜の味噌汁にデザートはスコッププリン、テーブルごとのバイキング食で楽しんで頂きました。やはり、揚げ物が人気メニューであり、皆さん大変喜ばれておりました。

お茶会メニューは、フルーツパフェと日向夏のロールケーキの盛り合わせでした。

〈パンの日〉６月12日（月）

「パンの日」ということで、午後のおやつにパンバイキングを楽しんで頂きました。

〈県民の日昼食会〉６月15日（木）

今年のメニューは、ソースカツにいもフライ、かんぴょうの卵とじ、トマトにらサラダに佐野ラーメン。デザートは、牛乳かんのいちごジャム添えでした。

10時のおやつは恒例になりました、レモン牛乳を召し上がって頂きました。

〈七夕昼食会・お茶会〉７月７日（金）

今年メニューは、やっぱり「そうめん」なかなかの人気メニューです。てんぷらの盛り合わせ、冷奴、デザートにすいかもあり、盛りだくさんのメニューとなりました。

お茶会のメニューは、七夕ゼリーにメロンロールケーキ。皆さん大変喜ばれておりました。

〈沖縄料理の日〉７月17日（月）

「海の日」に「まーさいどー（おいしいよー）沖縄料理」を召し上がって頂きました。今年のメニューは、ゴーヤチャンプル、もずくの酢の物、かき玉汁、マンゴープリンでした。もちろん、おやつも沖縄メニュー。今年は「ヒラヤーチー」という、沖縄風のお好み焼きを楽しんで頂きました。

ケアハウス滝の原苑

〈１８８日〉

その日は、梅雨明けも近く、それは、季節の変わり目の行事と知られた七夕。

天の川の七夕会食をいただいて、笹の葉に思いをたくした声明凱歌

そして、夏本番のただなか鍛えの謳歌と健康を望みます。

短冊　枝宏様

大正のマッキに生まれ、先を信じて今日も頑張る

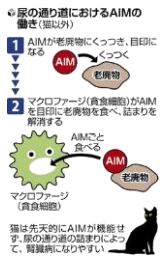
ご存知ですか「2～3年後には猫の寿命が二倍に！」

ペットの人気を二分する犬と猫。それらの飼育頭数はペットフード協会調査（2022年12月）によると犬は705万頭、猫は883万頭程で、近年減少傾向にある犬に対し微増傾向の猫が数ではナンバー1のようです。平均寿命ではどうなのでしょうか。同協会調査では犬は14.65歳で、猫は15.66歳で猫の方が1年ほど長生きするようです。

この猫の寿命が近い将来、今の二倍（30歳）程度に延びるというのです。その研究開発をされているのが、昨年東京大学を退職され一般社団法人AIM医学研究所を立ち上げられた宮崎徹博士です。宮崎博士は1999年スイス・バーゼル免疫学研究所で研究していた際、財団の名称にある「AIM」を発見しました。「AIM」は人や動物が血液中にたくさん持っているタンパク質の一種で、現在開発中の治療薬はこれを活用したものだそうです。

人や動物の血液の中には体の老廃物（ゴミ）を食べる免疫細胞（マクロファージ）があります。ゴミがたまると「AIM」はこのゴミとくっ付いてマクロファージにゴミがあることを伝えて、自分もろともマクロファージに食べさせることでゴミを処分するそうです。しかし、猫は先天的にAIMが機能せず、うまくゴミを排除できないのだそうです。このため、猫の腎臓には細胞の死骸などでゴミが溜まり続け、多くの猫は腎臓病で命を落とすそうです。

この予防や治療には、猫に確実に機能するAIMを開発・投与することが必要となります。承認に向けた治験薬はほぼ完成し臨床試験が間もなく始まるようです。認可の時期は所管の農水省次第のようですが、宮崎博士は2024年中を目指したいしています。また、博士は人間の腎臓病・アルツハイマー型認知症・自己免疫疾患などの治療にもAIMの活用が有効との判断から研究開発を進められています。こちらも早い完成を期待したいですね。



新入職員のお知らせ

ファミール滝の原

看護職

ふるさと宮まつり

編集雑記

7月22日梅雨が平年より3日遅く明けました。梅雨の間も厳しい暑さでしたが、気象庁の予報では8月前半を中心に気温の高い日は今後も続くようです。天気予報などで「今日も危険な暑さに・・・」などと頻繁に使われる「危険な暑さ」とはどんな暑さなのでしょか。埼玉熊谷市で観測史上最高となる41.1℃を記録したのは5年前の夏。この年の流行語大賞トップ10には「災害級の暑さ」が入り、NHKでは「命に関わる危険な暑さ」という新たな表現が使われました。当時は体温を超え40℃近い気温が予想される場合に使用されたようです。

現在では、「危険な暑さ」という言葉は「暑さ指数（WBGT）」という指標に基づいて使われています。暑さ指数とは、気温のほかに、湿度、日射や輻射熱などを考慮にした温度のことで、暑さ指数が高いほど、熱中症の危険性が高まります。特に、暑さ指数が31度以上（危険）になると、安静時でも熱中症になる可能性があります。因みに33度以上は熱中症警戒アラート（環境省・気象庁）の発表基準となります。放送各局などは「暑さ指数（WBGT）」が31度になると「危険な暑さ」と呼んでいるそうです。

さて、いよいよ8月26日、JR宇都宮駅の東口から黄色い次世代型路面電車「芳賀・宇都宮LRT」が走り始めます。市東部の清原工業団地などを経て芳賀・高根沢工業団地を結ぶ全長約14.6km（19駅）の路線です。開業当初は普通（各駅停車）のみで全線で40分台後半の走行です。運賃は150～400円。運賃支払いはICカードがお勧めのようですが、現金の場合は最前のドアで降りる際に支払うそうです。宇都宮駅東口は昨年ウツノミヤテラスや交流拠点施設の完成でこれまでとは様相が一変しています。まだ行っていないようでしたら、駅東口を散策がてらショッピングしたり、LRTに乗って小旅行するのもいいかもしれません。

ところで今年は、全国各地で行われる夏の風物詩、夏祭りや花火大会などがコロナ禍を経て、4年ぶりに開催される地域も多いようです。宇都宮の宮祭りもその一つですが、このところの新型コロナ感染者の増加がちょっと気になります。多くの人が待ちわびた祭りだけに何事もなく開催に至って欲しいですね。

厳しい暑さが続きます。ご自愛ください

次号の発行は11月1日です。